

# 地震発生！ そのとき何が 起こるのか



もし、札幌に震度7の大地震が起きた場合、負傷者は最大で34,395人と想定されています。しかし、札幌にある救急車は40台。広い範囲で同時に多数の負傷者が発生した場合、そのすべてに対応することは困難です。そこで、今回の特集では、災害が起きたときの状況を具体的に想像しながら、自らの身を守るための対策について考えていきます。この特集のお問い合わせは、危機管理対策課 ☎211-3062



(写真提供：阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター)

## 札幌の 被害想定

### 震度7の地震が厳冬期に起きたとき 阪神・淡路大震災を超える死者が発生する可能性も

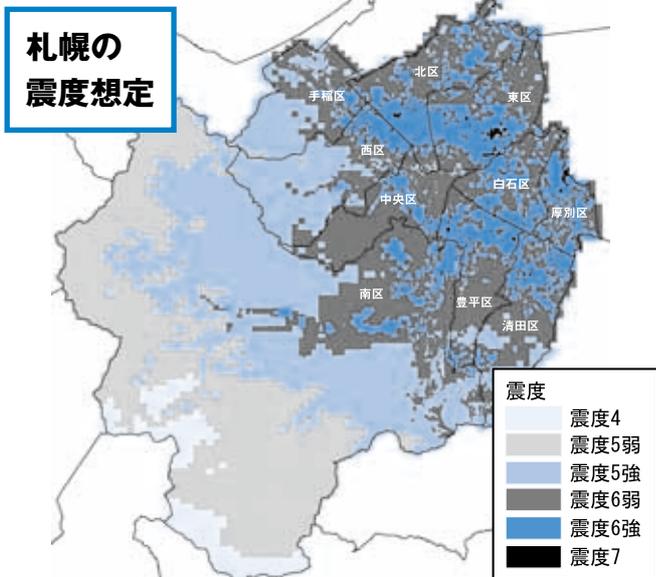
平成7年に戦後最大の被害をもたらした「阪神・淡路大震災」は、大都市直下の活断層が動いたことが原因でした。札幌市でも、市内の直下に3つの隠れた断層の存在が想定されており、地震による被害が最も大きくなった場合、凍死者も含め、8,000人を超える死者の発生が想定されています。これは「阪神・淡路大震災」の死者数を上回ります。

### 被害を比較！

	札幌の被害想定 (冬季の最大被害)	阪神・淡路大震災
建物全壊・半壊	112,461棟	249,180棟
建物焼失	1,405棟	7,036棟
死者	8,234人※	6,434人
負傷者	34,395人	43,792人
避難場所への避難者	110,666人 (夏季：135,928人)	316,678人

(参考) 平成6年10月1日現在の神戸市の人口:1,518,982人 世帯数:578,634

※ 「厳冬期に被災者が2時間以内に救出されない場合、凍死する」と仮定したときの最大死者数。このうち凍死者数が6,184人と想定



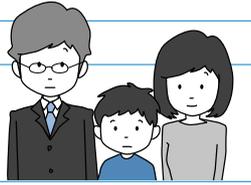
## 災害現場を想像してみよう

### 事例 1

もしもマンションに住むある家族が地震に遭ったとしたら…。小学生の子を持つお母さんの視点で発生時の様子を見ていきます。

#### モデルデータ

住居:築15年のマンション11階建ての11階  
 家族構成:夫40歳(会社員)、  
 本人36歳(主婦)、長男8歳(小学3年)



**お母さんの見た光景**  
 8月14日(土)夜11時24分  
 夫とソファでテレビを見ていたわたしは、雷のようなドーンという音とともに突き上げられ、体が放り出されるように感じ、体が放り出される。テレビが飛んできて、食器棚が倒れる！グワッシャーン！すごい音が響き、照明が消えた。「うわっ」。夫が叫んだ。倒れた食器棚に足を挟まれたようだ。

マンションが横に揺れ、わたしはソファにしがみついた。隣の部屋から子どもの泣き声が聞こえる。「どうしよう、助けなさい」。でも、立てない！  
 11時26分 揺れがおさまり、立ち上がった瞬間、「痛っ！」。割れたガラスを踏んでしまった。暗闇でうめいている夫がぼんやりと見える。懐中電灯は埋もれてどこにあるか見当もつかない。  
 11時53分 出血した足で家具

の山を乗り越え、やっと子ども部屋の前に到着。だが、ドアが開かない。倒れた本棚が邪魔になっている。無理やり押し開けて、ようやく、すき間から部屋に入ることができた。子どもにけがはない様子だ。  
 11時59分 夫は痛みで歩けないようだ。電話はつながらない。のどが渇いたが蛇口から水が出ない。助けを求め、ズキズキと痛み足を引かずして家を出た…。

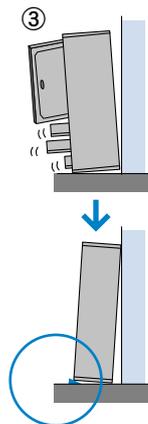
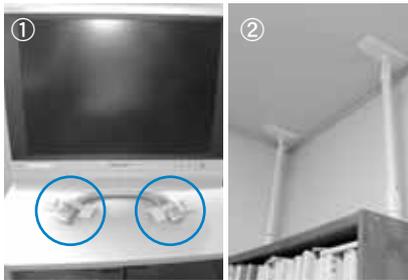
モデルケースに見る

### ケガをしないための地震対策

地震による家具の転倒で大きなけがをしたり、命を落としたりする可能性もあります。こうしたことを防ぐため対策が必要です。

#### テレビやたんすなどの大型家具は固定

①テレビと台は、市販の専用ベルトなどで一体に。②棚などはL字型の金具や突っ張り棒で固定。③家具の手前下に板などを入れると倒れにくくなる。



#### 窓、照明のガラスに注意

窓には飛散防止フィルムを張ったり、レースのカーテンをしたりするとガラスの飛び散りを防げる。つり下げ型照明は、ワイヤーなどで天井とつながり、固定型に変える。

#### 懐中電灯などを用意

懐中電灯のほか、ガラスが割れたときのためのスリッパや履物を、就寝場所などに配置する。

#### マンションの上層階は特に注意

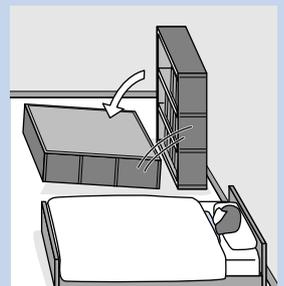
高層マンションの上層階は揺れが大きくなる可能性がありますので、上記の対策を必ず行うようにしましょう。



#### チェック

### 負傷の原因の約7割は家具やガラス

阪神・淡路大震災での負傷者のうち、倒れてきた家具や割れたガラスが原因で負傷した方は7割を占めます。家具は固定するか、もしくは配置を工夫してください。ホームセンターなどでは、固定金具などのほかに、さまざまな防災グッズを販売しています。詳しくは店舗にご確認ください。



転倒方向に寝ないようにする

# 事例 2

ここでは、古い家に住む単身高齢者が地震に巻き込まれた場面を想定し、様子を見ていきます。

## モデルデータ

住居:築30年の一戸建て  
家族構成:本人82歳(単身女性)



### おばあちゃんの見た光景

8月14日(土)夜11時24分  
家で寝ていると、ものすごい音と背中への強い衝撃で目が覚めた。たんすが倒れ、壁が崩れ、天井がメキメキと落ちてきて、訳も分からずそのまま布団をかぶった。頭の上で、ものすごい音が鳴り響いている。地震？

11時25分 揺れがおさまったようだが、布団から顔を出すと、目の前は真っ暗。四方に手を伸ばすと何かに完全に囲まれて、起き上がることもできない。どうやら倒れた家具と落ちてきた天井のすき間にいるようだ。その瞬間、パニックになって、助けを呼ぶために叫び続けた。

11時30分 閉じ込められて何分経ったのか。「助けてっ」。叫んでは耳を澄ますが返事はない。ほこりでのども痛い。  
息子は東京にいる。近所の人とは、夫が亡くなった後、話すのが億劫になり、付き合ひもない。誰かわたしに気付いてくれるのだろうか。

### 翌朝6時40分 疲れて眠っていたのか。もうろうとする中、「おばあちゃん」と声がする。「助けてっ」と何度も叫んだ。こちらの声は聞こえないようだだが、掘り起こすような音…。

助けてくれたのは、ごみ出しのときにあいさつをしていた斜め向かいの家の人だった。

阪神・淡路大震災を体験した  
えびす たかひさ  
我 隆久さん

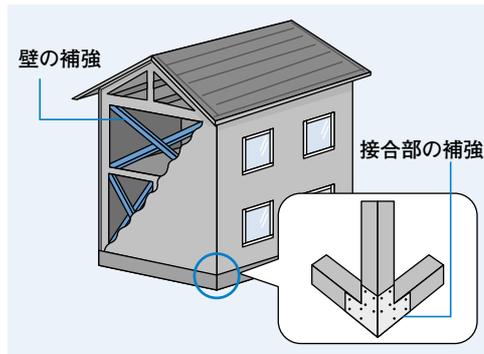
## モデルケースに見る

### 生き残るための地震対策

阪神・淡路大震災で亡くなった方の死因は、倒壊した建物や家具の下敷きになって息ができなくなる窒息死や、そのまま押しつぶされる圧死が大部分を占めました。建物の倒壊は、命の危険につながるといえます。

### 地震に耐えうる建物を

阪神・淡路大震災では、耐震基準が変わった昭和56年(1981年)以前に建てられた建物の倒壊が多く見られました。耐震化は費用も掛かり、手軽ではありませんが、リフォームの機会などに一緒に検討してみませんか。



## チェック

### 死亡の原因の約8割は建物

阪神・淡路大震災で死亡した方の約8割は、倒壊した建物が原因で亡くなっています。市では昭和56年以前に建てられた木造住宅の耐震診断や耐震改修の費用を補助していますので、詳しくはお問い合わせください。

#### ●耐震化費用補助額(一戸当たり)

- <診断> 費用の2/3以内かつ3万円を限度
- <設計> 費用の2/3以内かつ10万円を限度
- <改修> 費用の23%以内かつ40万円を限度

【詳細】建築安全推進課 ☎211-2867

#### 耐震化による税金の減額・控除もあります

- <固定資産税> 詳細は区役所(1階)の課税課へ
- <所得税> 詳細は最寄りの税務署へ



## 阪神・淡路大震災体験者の声

### 隣人の優しさ感謝

札幌在住ですが、震災のときは神戸の実家にいました。テレビが吹っ飛び、部屋はガラスだらけで、近くでは建物が倒壊し火事が発生…。ひどい状況でした。でも、被災地の外では世の中が普通に回っていて、仕事の電話が掛かってきて戸惑いましたね。やむなく、高齢の母を家に残し、4日後には札幌に戻ることに。そのとき、近所の人が「お母さんの世話は任せて」と言ってくれたのは、本当にありがたかったですね。



# 命を救うご近所の力

## ご近所とのあいさつが災害対策に

阪神・淡路大震災では、倒れた建物に閉じ込められた35,000人のうち、約8割の27,000人が近隣住民などに救出されました。住民同士での普段のあいさつによって、良い関係が築かれ、命を守ることに繋がります。



近隣住民が  
27,000人を救出!

(写真提供:人と防災未来センター)

## 高齢者や障がいのある方を助けるために

地域には、自分や家族だけでは避難が難しく、周りの方の支援が必要な方がいます。そうした方を、地域で支えていく仕組みづくりが市内各地で始まっています。

### 災害時要援護者避難支援対策

町内会などが中心になり

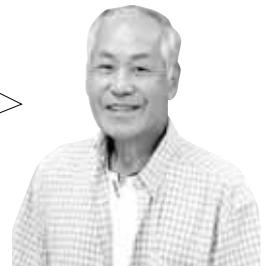
- ①災害時に「支援が必要な人」と「支援する人」を募集
- ②町内会などは両者を互いに組み合わせ、災害時には一緒に避難する支援体制をつくる



詳細 保健福祉局総務課 ☎211-2932

## 地域の安心をつくる

町内約420の世帯から「支援に協力できる方」69人、「支援が必要な方」42人の登録があり、組み合わせを行いました。支援が必要な方々の事情を考慮しながら支援体制をつくり、実際に防災訓練も実施。普段も声掛けがされ、町内の交流も活発になりました。今後も取り組みを続け、地域の安全・安心につなげていきたいと思います。



西岡サニーヒル町内会顧問  
さとう えつろう  
佐藤 悦郎さん

## ほ地 か震 の

# 風水害にどう対応しますか？

札幌に巨大な台風が近付いてきたら…。あなたはどんな対策をとりますか？

## 何が起きるのか？

暴風で木々が倒れたり、物が飛んできたりします。また、大雨によりがけ崩れや河川のはんらん、建物の浸水につながる場合があります。札幌では、平成16年に台風によって4人の方が亡くなりました。



## 油断しないことが大切!風水害対策

- テレビやラジオで気象情報を確認し、危険を感じたら早めに避難
- 停電に備え、ラジオや懐中電灯を準備
- 事前に洪水ハザードマップ(下記)などで地域内の浸水が想定される個所を確認



## 被害を少なくするための対策を

阪神・淡路大震災では、亡くなった方の約9割が、発生後15分以内に命を落としたといわれています。このようなわずかな時間の中では、消防や警察、自衛隊の救助も間に合いません。身を守るためには、自分で災害対策をする必要があるのです。8月30日(月)～9月5日(日)は防災週間。この機会に、災害が発生したとき、自分や家族に何が起きるのか想像し、被害を最小限にするために行動してみませんか。

## パンフレットを配布しています

防災や耐震診断などのパンフレットを配布しています。

### 配布場所

市役所6階危機管理対策課、区役所など  
さらに詳しい情報はホームページ  
[www.city.sapporo.jp/kikikanri](http://www.city.sapporo.jp/kikikanri)

◎広報番組でも防災情報を放映します

8/18(水) ウォッチング札幌(TVH) 午後10時54分～59分

参考図書:兵庫県(2009年)『阪神・淡路大震災の教訓』ぎょうせい、目黒公郎(2007年)『間違いだらけの地震対策』旬報社 ほか